

## 2024 年度 第 3 回須坂市子ども・子育て会議 議事録(要旨)

開催日時：2025 年 2 月 21 日(金)午後 2 時 00 分～3 時 00 分

場 所：須坂市防災活動センター 活動室1

出席者：[委員]10 名

小林委員(副会長) / 青木委員 / 加藤委員 / 山口委員 / 横山委員 / 東海林委員 / 宮下委員 / 飯田委員 / 高山委員 / 荻原委員

[事務局]

山岸教育次長 / 永井子ども課長兼こども家庭センター長 / 窪田子育て政策係長 / 鈴木児童保育所係長 / 小泉学校教育課児童・生徒支援係長 / 宮尾福祉課保護支援係長 / 小林政策推進課政策秘書係長 / 大峽健康づくり課母子支援係長

### 1. 開会(永井課長)

会議条例第 6 条の規定により、全委員数 16 名中現在 10 名出席のため、委員の半数以上になるので会議が成立していることを報告した。

### 2. 会長あいさつ (会長欠席のため省略)

### 3. 会議事項(進行:副会長) (◇は委員、◆は事務局の発言)

#### (1) 第 3 期須坂市子ども・子育て支援事業計画について

##### ◆パブリックコメントを行なった経過、提言・意見についての説明

質疑・応答

#### A 委員

◇パブリックコメントについての回答はどのように行われていたのか。例えば育休退園について質問者はかなり切実だが、実施年度を定めていない。

◆現在は未満児の入園の需要は非常に高い。今後の人口の推移や保育需要をみながらとなるため、実施の時期について明確に回答できていないが、制度解消がいつできるのかを検討していく。

#### B 委員

◇質問と回答の切実な声についてのやり取りができていればありがたい。これからの施策に入っている等理解していただけるような書き方だと良い。

◆質問者とは個別に関わっているケースもある。パブリックコメントの回答としては、このような形にしたことをご承知いただきたい。

#### (2) 特定教育・保育施設の利用定員について(報告)

◆子ども・子育て支援法に基づき利用定員の変更の報告。

豊洲保育園 利用定員 2 号認定 30 名となり全体の利用定員は 50 人  
(委員からの質問なし)

その他

C 委員

◇子育て中の保護者は様々な情報を様々なところから得ている。そのうえの子育て世代を支える世代への情報提供の仕方が今後の課題だと思う。

D 委員

◇須坂市の「地域の子どもは地域で育てる」を実感している。子どもは居場所があって居心地がいいと気持ちがいい。

E 委員

◇育休退園制度について、できるだけはやく解決してほしい。

F 委員

◇子育て支援の制度が必要な人に届くといい。誰かがやるのではなく自分視点で考えたい。

G 委員

◇子どもと接する機会が大事だと思った。子どもの関係も一番大事な宝物ですから。

H 委員

◇子育て支援事業はとても大切でそれによって次の世代の子どもたちを育む。点ではなく線で援助できることが必要と感じる。

◆いろいろな制度があるが、全体として考えていかなければならない。すべての要望や事業を一気にできない実情はあるが、着実に意見を頂戴しながら進めていきたい。

I 委員

◇教員も保育士も人材不足である。子育て支援も人が必要。様々なところで様々な発信をすることで政策につながっていくと思う。

(3)その他